

大高同窓会報

発行

千葉県立大多喜高等学校同窓会

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481
〒298-0216 TEL 0470-82-2621
URL
<http://www.chiba-c.ed.jp/otaki-h/>
E-mail otaki-h@chiba-c.ed.jp

印刷 (株) サラト
姫路市北条宮の町172番地
TEL 079-284-1380



創立110周年記念式典



齋藤萬祐実行委員長挨拶



創立110周年記念演奏会



挨拶

千葉県立大多喜高等学校

同窓会長

齋藤 萬祐

創立110周年記念事業実行委員長

あでやかな錦に彩られた今日の佳き日、千葉県立大多喜高等学校創立110周年記念式典が、千葉県教育委員会教育次長 川島貞夫様を始め、各界よりの御来賓の御臨席を賜りまして挙行できますことを厚く感謝申し上げます。

明治33年の創立以来、平成の今日に至るまで、本校の歴史は決して平坦なものではありませんでした。激動の時代、繁栄の時代、そして平成不況と言われる今日まで、それぞれの時代に即応すべく、統合または分離の変遷を経て、総南教学の中心として発展してまいりました。その変化に富んだ変遷にあって、どのような時代であろうと、大多喜高校は「大中至正」の理念を貫き、有為な人物を育て、輩出して参りました。夷隅、長生、市原などの各地から、向学の意気に燃えた多くの生徒が大多喜高校に学び、卒業生は大多喜女子高校と併せますと26,000余名を数え、幅広い分野で活躍され、社会に貢献されています。誠に喜ばしい限りであります。これも偏に県当局の御高配はもとより、御来賓の皆様、大多喜町をはじめとする地域の方々、PTA、後援会、同窓会、並びに歴代校長をはじめとする教職員の方々の絶大なる御指導、御支援の賜と深く感謝申し上げます。

創立100周年の記念式典が盛大に挙行されてから、早くも10年が経過いたしました。この間、学区の再編が行われ、少子化の進行と相俟って、3クラスが減となりました。さらに来年度からはもう1クラス減となります。大多喜高校にとりましては誠に厳しい状況にあります。厳しい状況ではありますが、わたくしは、大多喜高校はこれまでの歴史と伝統が指し示している道を歩んで行けばよいのだと思います。すなわち、自主、進取の気概を持ち、「大中至正」の本義が示す正しく誠実な生き方をする人材を育成することです。そのことが、110年間そうであ

ったように、地域社会からの絶大な信頼を得ることになります。その大多喜高校の姿勢は、近年のいすみ鉄道に対する取り組みにもよく現れています。この10年の間に、いすみ鉄道の存続が危ぶまれるという、生徒のみならず沿線の地域にとりまして非常に重大な局面を迎えた時がありましたが、無事存続することとなりました。このことにつきましては、生徒の皆さんの、長年に亘る存続に対する誠実で地道な活動があつてのことと確信しております。一住民として大多喜高校の皆さんを誇らしく、頼もしく、嬉しく思っております。

私達は110周年を機に、記念事業実行委員会を組織し、諸先輩の築かれた輝かしい歴史と伝統を讃え、母校が一層発展することを祈念して創立110周年事業を計画いたしました。事業の内容は御来賓の皆様にお示しいたしましたリーフレットにあるとおりです。また、記念事業ではありませんが、生徒の皆さんの学習環境を更に快適にすべく、冷房設備の設置計画が進行していると聞いています。これも喜ばしいことでもあります。

在校生の皆さんには、110年の時の重さを感じ、大多喜高校の歴史を継承することに誇りを持ち、学べることの幸せに感謝し、今なすべきことを自覚し、大高生の自負を以て逞しく自らの道を切り拓いていかれることを期待します。皆さんの日々の真摯な研鑽が大多喜高校を更に発展させ、歴史と伝統を未来に繋いでゆくのです。

終わりに、本校が地域教育の要として一層発展することを願い、併せて御列席の皆様方の本校の教育活動に対する変わらぬ御支援と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。(創立110周年記念誌より)

大多喜高等学校同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清福にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、日頃は、当会の活動・運営に関しまして、何かとご指導・ご協力賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。

3月11日に発生した東日本大震災、その後起きた福島第一原発の事故により、多くの方々が被害に遭われ、まだまだ復興にはほど遠い状況にあります。千葉県に於いても地震や津波の被害を受け同窓会の中にも被害に遭われた方がいると聞いております。また千葉県の農業、漁業にも深刻なダメージをのこしております。この様な時だからこそみんなで力を合わせ、助け合いながら少しでも復興に向け進んでいかなければなりません。その中



創立110周年にあたって

千葉県立大多喜高等学校前校長 加藤 茂範

本日、ここに千葉県立大多喜高等学校創立110周年記念式典の開催にあたり、千葉県教育委員会教育次長 川島貞夫 様を始め多くの来賓の方々の御臨席を賜り、盛大に式典が挙行されますことは、本校職員・生徒にとりまして、この上ない喜びとするところであります。

本校は、明治33年（1900年）4月に大多喜城内に、千葉県大多喜中学校として創立され、星霜経ること本年度で110年が経過しました。創立以来、夷隅郡市はもとより長生郡市や市原市などから勉学意欲溢れる生徒を受け入れて参りました。

本校が一世紀を超える長きにわたり発展し、次代を担う人材を育成し続けて参りましたのも、県当局や大多喜町始め近隣市町村の絶大なる御支援と地域の方々の本校に対する強い期待や御理解・御協力のお陰と心から感謝申し上げます。

戦前の旧制中学校時代には、「大中」と呼ばれ「大中至正」の教育理念の下、質実剛健の気風に基づく教育が行われました。

戦後は、日本国憲法の制定に基づき教育基本法や学校教育法などの新しい教育法制が整備され、教育の目的は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家や社会の形成に貢献できる人材の育成にあることが定められました。

この大きな歴史の転換点の中で、昭和23年4月、学制改革により本校の校名は、千葉県立大多喜高等学校となりました。その後、昭和25年大多喜女子高等学校と統合、昭和38年同校が独立、さらに平成16年4月には、時代の要請や地域の実情も踏まえ、再び大多喜女子高等学校と統合し、今日に至っております。この間、平成12年11月には、創立100周年記念式典を挙げております。

本校の第1回卒業式は明治38年3月に行われ、1期生として27名が卒業しました。以来、平成21年度までの卒業生の総数は、26,000人を超えています。

今日までの本校に対する高い評価は、卒業生の在学中の活動やその後、社会で活躍している実績に対してのものです。

本校が、今後とも高い評価を得るためには、創立110周年を契機に、本校の果たすべき役割は何かを不断に検討し、改善に結びつけていくことが大切であると考えています。学習面では一層の学力の向上、生活面では、社会性や協調性を身に付けること、さらに健康で生活できる体力を培うことなどを生徒に求めます。

また、生徒が、「本校で学んでよかった」と実感できる

に同窓会として少しでもお役に立てればと考えております。

大多喜高校は、県下でも、千葉高、木更津高、匝瑳高と並んで称される名門校であります。ただ、最近は少子化により学生の確保が大変のようでもあります。

これからも伝統ある大多喜高校発展のため皆様方のご協力をお願い申し上げます次第であります。

最後になりましたが、皆様方の暖かいご支援、ご協力を感謝すると共に、大多喜高校と同窓会のますますの発展を祈念してごあいさつと致します。ありがとうございました。

学校づくりを一層、目指します。

幸い、本校の長く継承され教育理念の基調をなす「質実剛健」・「文武両道」の精神は健在です。多くの生徒は、入学後、学力面でその伸長度が顕著です。また、生徒の大半が部活動に加入し、自己の向上に努めています。全国大会や関東大会に出場するなど成果も出しています。

去る9月9日に、110周年記念行事の一環として、本校卒業生で、NECソフトウェア（現NECソフト）の社長・会長を歴任された関 隆明さんをお招きして、進路講演会を実施しました。演題は「私の歩んだ道 ― 挑戦に次ぐ挑戦―」でした。

1970年代、80年代、コンピュータのソフト開発の面ではアメリカのIBMが巨大企業として君臨していましたが、関さんは技術者として、不屈の精神と耐えまぬ努力で実績を築いていきました。講演の結びに、「何事にも、あきらめてはいけない、前に山がそびえていても、それを迂回することなく、正面から果敢に挑戦することが大切である。努力をすれば、必ずその苦勞は実る。」旨を話されました。これから社会を支えていく立場となる後輩に期待を込めて、御自身の体験から出た貴重な言葉です。

本校校歌の一節に、「夷隅は遠く、世界を目指す」とあります。意味するところは、「高い志や理想を持ち、その実現に向け日々努力せよ」ということです。日本におけるコンピュータソフト開発の先駆者の一人である関 隆明さんはまさに、この歌詞を体現した人です。生徒の皆さんは、再度、関さんの話を想起し、高校時代、どう過ごすべきか真剣に考えて、日々努力をしてください。

現在、生徒や保護者の期待に応えるべく、本校職員は一体となり日常の教育活動に、最善を尽くしているところです。本校に関係する全ての方々に支えられて、大多喜高等学校は発展して参りました。今後とも皆様方の変わらぬ御理解と御支援を重ねてお願い申し上げます。

地元、大多喜町の御尽力により、本校の出入り口付近の通学路が、近く拡幅され、学校の出入りが格段に便利となります。長年の懸案であったこの問題が解決することは本校にとり、大変ありがたく町当局に深く感謝する次第です。

終わりにあたり、この創立110周年記念事業を推進していただきました実行委員会の齋藤 萬祐 同窓会会長を始め実行委員の皆様にご感謝申し上げますとともに、本日の式典に御臨席いただきました皆様方に厚く御礼申し上げ、式辞といたします。

（創立110周年記念誌より）



文武両道を追い求めて

千葉県立大多喜高等学校校長 渡邊 隆

同窓の皆様には日頃より大多喜高校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。私、本年度6月9日付けで加藤校長の後任として着任いたしました。

まず、このたびの東日本大震災で被害を受けた地域の皆様にお見舞いとお悔やみを申し上げますとともに、少しでも早い復旧・復興に向けて個人として、学校として出来ることを今後継続的にやっていきたいと考えております。

さて、県下でも有数の歴史と伝統を誇る大多喜高校に新任校長として勤務することになり、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。同窓でもなく、これまでの教員生活の中で大多喜高校での勤務経験ありませんので、これまでの3週間慌ただしい中で大多喜高校の生徒・職員を知る、大多喜町を知る、いすみ鉄道を知ることを主として過ごしてきました。今まで経験したことがないくらいの授業中の生徒の真摯な態度、朝早くから生徒の声が響く部活動の練習風景、第34回明善祭で生徒が見せた元気な笑顔と質の高い文化部の発表、初めて乗ったいすみ鉄道の車窓から見た自然豊かな夷隅地域の風景等々、その一つ一つが大多喜高校を象徴するものでしょう。大多喜高校と大高生がいかに家庭・同窓・地域に愛され支えられているか、いすみの地域でいかに大高生がひたむきに学校生活を送っているか、職員がいかに情熱を持って生徒の指導に当たっているかを実感させられた3週間でもありました。

昨年度実施された創立110年記念事業につきましては、同窓の皆様を始め関係する皆様のご協力で成功裡に終了することが出来ました。9月9日には関隆明氏（特定非営利活動法人「ITコーディネータ協会」昭和33年3月本校卒業）を講師としてお招きして記念講演会が開催され、氏から「若い時に失敗を恐れず挑戦する経験を積むこと」など在校生に励ましの言葉をいただきました。また11月4日に行われた記念式

典では多くの来賓や同窓の方々が見守るなか、吹奏楽部によって旧制中学・大多喜女子高校の校歌が演奏されるなど、あらためて110年の歴史の重みに思いを馳せる機会となりました。この場をお借りして同窓の皆様のご協力に感謝いたします。

また、平成17年から行ってきた、いすみ鉄道存続支援の地道な取組（「いすみ鉄道・地域とともに」）が、千葉日報社主催の「2010千葉教育大賞」に選ばれました。この賞は子どもや若者への優れた自立支援教育活動を顕彰するもので、卒業生・保護者・地域の皆様の長年の献身的な取組が高く評価されたものです。いすみ鉄道存続決定に次ぐ嬉しいニュースでした。

部活動では、美術部の磯野由希さん（2年）と関孝則君（3年）の作品が全国高等学校総合文化祭へ出品されることになりました。美術部としては4年連続の快挙となります。今年度の部活動加入率は85%で、各部がより高みを目指して日々活動しています。今回あと一歩のところまで関東大会出場を逃した部もあり、3年生引退後の新メンバーでの今後の活躍を期待しているところです。

学習面については、長年の懸案であった普通教室の冷房設備設置が同窓会のご協力と保護者の皆様のご負担で実現いたしました。6月から稼働しており、普段の授業や夏季課外など、生徒は快適な環境で学習が出来るようになりました。

最後になりますが、本校は今まで受け継がれてきた「文武両道」を、一人ひとりの生徒の進路実現・夢の実現に向けて、これからも職員が一体となって追い求めます。そのための体制・組織をより充実させるために、校長として最大限の努力をする所存でございます。

同窓の皆様の変らぬご理解とご支援をお願い申し上げます。挨拶といたします。よろしくお願ひいたします。

支部・OB会だより

大多喜支部 平成23年度支部総会

大多喜高校同窓会大多喜支部では、5月19日（木）に大多喜町中央公民館において、支部の定例総会を開催しました。

同窓会長である齋藤萬祐氏、後援会長の飯島勝美大多喜町長の他、加藤校長先生を来賓にお迎えし、平成22年度の事業報告、決算の承認の他、23年度の事業計画や予算（案）などの審議を行いました。

平成23年度の事業計画では、同窓会支部会員の親睦を深めるための事業や生徒の通学の手段であるいすみ鉄道を支援するため、年を通じて積極的に乗車運動等に協力することや鉄道沿線の環境美化活動のための事業協力が全会一致で可決承認されました。

女子高支部

新緑の中、来賓として校長加藤茂範様、事務局長齋藤真一様をお迎えし、同窓生24名の出席により総会を開催。太田とも子議長の進行で議事に入り原案どおり承認されました。昨年は大高創立110周年記念事業の一環として同窓生念願の記念碑を建立でき関係者皆様に大変お世話になり、ありがとうございました。校長の挨拶の中で生徒の減少に係らず各学年4クラスを

また、総会提出議案の審議終了後、今年度、同窓会事務局長に就任した齋藤先生から「学校の現況について」と題し、お話を戴きました。

大多喜高校の生徒は、生活指導面では挨拶も良くでき、服装等もしっかりしている。また生徒の通学の足であるいすみ鉄道存続に向けて出来る活動を今年度も継続していく。本年度、普通教室棟に冷房設備をすることになった。保護者の負担によるものだが、同窓会経費から一部助成することとなった。

同窓会会報の発行賛助金にご協力（一口1,000円以上）を戴きたいとする内容でした。

同窓会大多喜支部では、母校のため、生徒のために惜しみない努力を続けて参りたいと考えます。

確保し、先生方も教育内容の向上、音楽、体育、美術等部門もちろん教科にも実績をあげています。生徒のすばらしい所は服装、挨拶が良くできていること、これも家庭での躾が行き届いているとお話されました。総会終了後は時節柄アトラクションは予定せず懇親会を設定したが時間がなくなり解散となりました。（稲村千代子）

サッカー部OB会

第10回少年サッカー大会を開催

大多喜高校サッカー部OB会主催による第10回大多喜町近隣少年サッカー大会が、12月18日（土）大多喜町海洋センター多目的広場において開催されました。この大会は、体力と技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な個を育成するとともに大会に参加されるチーム相互の親睦を深める場として毎年開催しているものです。

今大会には、茂原市内、いすみ市内から16チームが参加し、熱戦が展開されました。

各チームともに年々、技術の向上が見られ、監督、コーチの指示に従い、懸命にボールを追い、チャンスとばかりシュートを打っていました。

ピッチの外で応援している保護者たちは、我が子の活躍に

声が哽れるまで応援し、中には興奮のあまり目頭をおさえて応援する姿も見られました。

結果は、第1回大会で優勝したFC勝浦が10年ぶりに優勝杯を手にした他準優勝は年々実力をつけてきた長者FCが、また3位には、第6回、7回と優勝している大多喜SCに競り勝った御宿FCが入賞しました。

大多喜高校サッカー部OB会では、今年も第11回大会を計画しています。

大勢のチームのご参加をお待ちしています。



同期会

昭和44年卒

青春まっ盛りだった、あの頃の面影を留める者は既に誰も居ませんが、集まった紳士淑女の胸中は還暦を越えた今も青春のど真ん中進行中です。平成19年から毎年開催、5年目で益々盛況です。

昭和44年卒、3年E組が中心ですが他のクラスからの参加者も増加中で来年も開催します。



平成22年度 同窓会総会報告

平成22年度の総会は、平成22年10月31日（日）に、勝浦ホテル三日月にて出席者61名のもと開催されました。慎重審議の上、定例の議案について承認されました。以下に、21年度会計報告を掲載させていただきます。なお賛助金とは、皆様方から1口1,000円で集めております任意の同窓会報発行維持費と広告料を合わせたものです。

平成21年度同窓会決算報告書

● 一般会計	1 収入支出対照表	平成22年3月31日現在				
		本年度収入総額	本年度支出総額	本年度残額	説明	
		7,087,805円	2,373,498円	4,714,307円	翌年度へ繰越	
2 収入の部	科 目	予 算 額	決 算 額	比 較		説 明
				増	減	
	繰越金	4,499,924円	4,499,924円	0円	0円	平成20年度繰越金
	会費	0円	0円	0円	0円	
	入会金	965,000円	965,000円	0円	0円	5,000円×193名
	賛助金	2,000,000円	1,555,520円	0円	444,480円	同窓会報発行賛助金
	雑収入	500円	67,361円	66,861円	0円	預金利息・名簿販売
計	7,465,424円	7,087,805円	66,861円	444,480円		
3 支出の部	科 目	予 算 額	決 算 額	比 較		説 明
				増	減	
	会議費	250,000円	111,883円	0円	138,117円	総会補助、役員会費
	運営費	150,000円	3,180円	0円	146,820円	事務費、通信費
	活動費	600,000円	426,343円	0円	173,657円	支部活動費、旅費等
	広報費	2,000,000円	1,832,092円	0円	167,908円	同窓会報発行代
	雑費	80,000円	0円	0円	80,000円	慶弔費
	予備費	4,385,424円	0円	0円	4,385,424円	
計	7,465,424円	2,373,498円	0円	5,091,926円		
● 特別会計	1 収入支出対照表	平成22年3月31日現在				
		本年度収入総額	本年度支出総額	本年度残額	説明	
		4,792,395円	0円	4,792,395円	翌年度へ繰越	
2 収入の部	科 目	予 算 額	決 算 額	比較(減△)	説明	
	繰越金	4,790,865円	4,790,865円	0円	平成20年度繰越金	
	雑収入	2,000円	1,530円	470円	預金利息	
	計	4,792,865円	4,792,395円	470円		
3 支出の部	科 目	予 算 額	決 算 額	比較(減△)	説明	
	予備費	4,792,865円	0円	4,792,865円		
	計	4,792,865円	0円	4,792,865円		



いすみ鉄道関連ニュース

29号

平成23年5月13日

千葉県立大多喜高等学校
生徒会・いすみ鉄道対策委員会

■今年度の取組について

今年度も生徒会・いすみ鉄道対策委員会を中心に、いすみ鉄道への支援活動を積極的に行っていきます。昨年度、いすみ鉄道の存続が決定しました。本校もいすみ鉄道存続のための取組が評価され、「2010千葉教育大賞」を受賞することができました。これまでの取組をさらに発展させるために、今年度も継続した取組を行っていきます。大多喜高校の生徒・保護者・先輩の皆さん、地域の方々、関係する多くの皆さんのこれまでの御協力に感謝するとともに、これからも引き続き、御協力をよろしくお願い致します。

■美術部制作の看板が設置!!

大多喜駅の改札を出てすぐのところ、このような看板を見ることがありますよね。これは、本校美術部の齋藤さん・菅根さん・富澤さんが中心となって制作しました。夷隅川流域の豊かな自然環境を守っていききたいというメッセージをこめて、大多喜周辺に棲息している生き物などを色彩も鮮やかに描いています。まだ見ていない方はぜひ大多喜駅まで足を運んでみてください。裏にも注目してくださいね。



■いすみ鉄道が紹介されました!!

① 4 / 19 「あさイチ」

(NHK総合 午前8:15～)

俳優の篠山輝信(写真家篠山紀信さんの息子)さんがいすみ鉄道の1日社員として、車両の清掃、募金活動などを行いました。これはそのときの様子です。



② 4 / 27 「こんにちは、いつと6けん」

(NHK総合 午前11:05～)

鉄道写真家の中井精也さんがいすみ鉄道の魅力を語っていました。これはそのときの様子



です。本校の生徒による車両の清掃なども紹介されました。

いすみ鉄道の紹介をすることで、少しでもこの鉄道のことを知ってもらえればうれしいです。いすみ鉄道の総務部長さんが、「広告費がないなかで「いすみ鉄道」の告知をしていただけることはうれしい」とおっしゃっておられました。

いすみ鉄道イベント情報!!

<行われたイベント>

① 4月29日(金)キハ52系特別列車の運行が始まる

いよいよキハ52系列車の運行が始まりました。当日はたくさんの観光客で駅はいっぱいになりました。テレビや新聞社なども取材に訪れていました。キハ52系の効果で、いすみ鉄道の利用客が増えることを期待しています。今は土日・休日に急行として運転されていますが、やがては通学時間帯の運転も考えられているようです。



当日、限定の“本多忠勝弁当”です。おいしそう!!

② ポッポの丘オープン

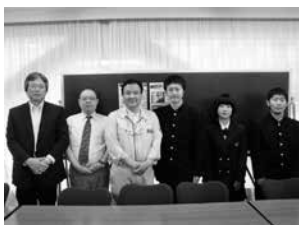
いすみ鉄道で使われた車両を活用して、地元の畜産品や特産品、いすみ鉄道グッズなどを販売するポッポの丘がいすみ市作田にオープンしました。地元の産業の活性化のためにいすみ鉄道の車両が一役買っています。



30号

平成23年6月7日

■第12回中高い鉄プロジェクト会議開催



5月19日(木)本校会議室にて、いすみ鉄道沿線6校の中学校・高等学校の代表者が集まり、第12回中高い鉄プロジェクト会議が行われました。会議では昨年度のボランティア活動の報告、今年度のいすみ鉄道支援活動について真剣な話し合いが行われました。



【千葉日報 6/5より】

活性化のためのアイデアがたくさん出され、いすみ鉄道の鳥塚社長が一つ一つ丁寧に回答してくださいました。19時以降の増便についても検討していただけるそうです。

いすみ鉄道イベント情報!!

<イベント報告>

○ごみ0でむし歯0フェスタin大多喜

5月29日(日)、雨の降る中でしたが駅周辺のゴミ拾いを行い、キハ52系の貸切列車に無料乗車することができました。たくさんの方々の参加に感謝いたします。御協力ありがとうございました。



■マンドリン・ギター列車が走りました!!

6月11日(土)、マンドリン・ギター部によるマンドリン・ギター列車演奏会が行われました。当日はあいにくの雨でしたが、多くのお客様が乗車してくださいました。20曲の演奏の他に、アンコール演奏やマンドリン体験などもあり、車内は温かな雰囲気に包まれました。また来年もという声があります。ぜひ第5回も企画してください。マンドリン・ギター部のみなさんありがとうございました。

このときの様子はDVDに編集して、明善祭で上演しました。(ご希望の方は申してください。)



■駅清掃を行いました!!

6月9日(木)に“いすみ鉄道駅清掃”が行われました。今回は、1Bが東総元駅、2Bが小谷松駅、3Bが大多喜駅、生徒会が総元駅をそれぞれ担当しました。1年生にとっ



ては初めての活動ということで、列車に揺られながらそれぞれの駅に到着後、熱心に清掃

に取り組みました。掲示物を直したり、窓を拭いたり、駅舎の周りの落ち葉を拾ったりと、およそ30分の清掃でとてもきれいになりました。

■明善祭がありました!!

第34回明善祭が6/25(土)に行われました。社会部・いすみ鉄道対策委員会を中心に、いすみ鉄道についての展示発表を行いました。当日は、いすみ鉄道をサポートする方々もお見えになり、情報交換をすることができました。

また、一般の方々や先生方、生徒のみなさんに、いすみ鉄道グッズをたくさん購入していただきました。ありがとうございました。

閉会式の前に行われた特別イベントでは、moka・インディゴ7のみなさんによる特別ライブが行われました。いすみ鉄道の応援ソングの“黄色い列車”を演奏していただきました。いすみ鉄道の雰囲気にピッタリ合っている曲でした。CDは駅のグッズショップで販売しています。ぜひお買い求めください。



同窓生の声

児童相談所に勤務して

岡野 友子 (昭和43年卒)

私が大多喜高校へ満員の木原線に乗って通学していたのは、東京オリンピックの翌年からですので遙か昔になります。朝は上下線が同時位に着き、学校まで続く道は生徒であふれていました。今年度から1クラス減で定数160名になったとお聞きしましたので、当時の半分位になったのですね。

少子化と騒がれて久しくなりますが、私が長く在職しておりました児童相談所は学校の定数とは逆に、相談件数や入所数は年々増加の傾向にあります。児童相談所については知っていただく機会は少なかったのですが、新聞やテレビで虐待のニュースが流れる毎に名前が出てきて、よく知られるようになりました。

私が勤め始めた昭和50年頃は、「虐待」という種別は見当たらず、「養育困難」又は、「問題行動」としてケースに挙げられていました。バッテリーチャイルド症候群が疑われて保護されていた児童がいました。低身長、過食傾向があり、最初は家出や盗み等の問題行動があって入所していたのですが、数ヶ月保護をするうちに身長が伸び、久し振りに両親と会った時は職員から離れようとせず、大泣きをし

た少年の姿は今も忘れることはできません。不安な環境が心身の発達を阻害し、問題行動もそこから起きていたのです。年齢が幼い程、必要な環境を整えてあげれば回復は早いのですが、高学年になればなる程問題は複雑です。

回復の為にはいくつかの段階があります。保護所は15~30名位の児童と一緒に生活をしているので、どの子にも最初に、保護所のルールは、あなたを守る為、そして皆を守る為にあることを伝えて少しずつ生活に慣れてもらいます。しばらくすると体の不調や不眠の訴えも聞かれ、手当てをしたり、お医者さんにかかって必要な処方してもらうこともあります。大人が一つ一つ寄り添うことで枠組を受容れ、自分を肯定できるように成ることを目標に置いています。

中学はほとんど登校せず、3年生の終わりに保護されて、先のことはまだまだ考えられない状況の児童がいました。その子が一年後に公立高校を受験して合格し、将来の自分を考えられるようになった姿は、信頼することの大切さを職員にも教えてくれました。長期に渡る保護の中で自分の夢を描けるようになり、養護施設に入所して高校へ通うようになりました。時々児相にも近況を報告に来てくれ、保護所も育ちの場であることに変わりはないと実感します。

育てることの大切さを知るようになったのは、私自身大多喜に生まれ、豊かな山野に囲まれて人々の温かな手を感じて育ったからだと思います。ゆりかごの様なふる里です。

この度の東日本大震災では、尊い命、そして多くの豊かなふる里が無情に破壊されてしまいました。これからも私達は困難を乗り越えてゆかねばなりません、同じ思いを心に刻んで日々の暮らしをしてゆこうと思います。

部活動状況

美術部 平成23年 第35回全国高等学校総合文化祭
美術・工芸部門 関 孝則
磯野 由希



		男	女	計			男	女	計	
体育系部活動	柔道	7	0	7	文化系部活動	生物	0	6	6	
	剣道	18	9	27		美術	5	16	21	
	陸上競技	16	19	35		書道	0	6	6	
	弓道	24	18	42		マンドリン・ギター	7	14	21	
	野球	38	2	40		コンピュータ	2	2	4	
	ソフトテニス	14	9	23		文芸	4	1	5	
	バレーボール	8	13	21		演劇	10	6	16	
	バスケットボール	11	12	23		英語	0	8	8	
	サッカー	23	5	28		吹奏楽	11	40	51	
	卓球	12	11	23		茶道	0	20	20	
						同好会	華道同好会	0	9	9
							コーラス同好会	4	3	7
					料理同好会	0	31	31		
					合計	214	260	474		

22年度進路状況報告

進路指導主事 丸 健一

本校の22年度卒業生は、大学進学者63.2%（前年64.8%）、短大進学者8.8%（前年5.2%）でした。専門学校への進学者17.6%（前年15.5%）を加えると、89.6%（前年85.5%）と、進学者全体の比率は一層高まってきたことがうかがえます。

さて、進学先の中でも人気の高い2つの分野について取り上げたいと思います。

まず、教育系ですが、本校生徒の進路傾向として教育系への進学が多いことが特徴の1つとなっています。22年度も大学には15名（男2名、女13名）が教育系の分野へ進学し、短大において小学校教諭や保育士を目指す者は、短大進学者16名中8名となっており、合計23名の者が教育系（保育含む）へと進みました。小学校をはじめとする教員や保育士など、地域の教育の担い手として活躍する人材に成長してくれるものと思います。

次に、看護・医療系ですが、大学には14名（男8名、女6名）が進学。内訳を見ても、看護2名、理学療法・医療スポーツ系5名、作業療法1名、医療情報1名、医療危機管理1名、放射線2名、薬学2名などとなっています。さらに、専門学校進学者32名中15名が看護・医療系に進んでいます。よって、合計29名の者が看護・医療系への進学を果たしたわけです。就職率の良好な業種であり、将来的にも資格を活かせるということで安定した人気を呼んでいるものと思われます。中でも看護職は、医師の分野から介護士の分野まで、その活躍の場が広げられつつあるということもあり、ニーズは堅調です。今後とも本校出身者が看護師や医療関係者として多くの医療機関で活躍するようになっていくことでしょう。

さて、大学入学生の学力低下がAO入試に起因しているとの指摘から、文部科学省はAO入試においても学力の把握を徹底するよう各大学に通達し、入学願書受付も8月1日以降となるなど、AO入試への風当たりが強いようですが、最近ある大学の職員が本校卒業生の学業成績資料（個人名を削除したもの）を持参されました。それによると、AO入試で入学した学生は入学後も積極的に勉学に取り組み、大変良好な成績を収めている者が多く、一方、センター入試や一般入試で入学した者の多くは成績が低迷し、中には留年する者までいる、というものでした。「本人が本当にこの大学で学びたいと思えば早々にAO入試で入ってきた者は入学後も意欲を持って勉学に取り組むが、一般入試やセンター入試で滑り止めとして受験し、結果的に入学することとなった者は、不満な気持ちを抱いたままいつまでも意欲を持つことができずにいるのではないか。」と大学側は推測するとともにAO入試の有用性を再認識しているとのことでした。しかし、この事例から看取すべきことは、受験形式はともあれ「本当に入りたい大学に入る」ことで達成感をしっかりと感じる事が、その後の大学生活にまで影響する極めて重要なことなのだという事です。今後の進路指導においても是非とも強調していきたいと考えているところです。

昨年度の進路指導概要

- 予備校「春期・夏期・センター直前講座」出前授業
受験対策としての大手予備校講師による授業（PTA主催）
※秋期講座を中止し、春期講座を新設
- 大学見学会（バス）
Aコース（早稲田大学・千葉大学）
Bコース（慶應義塾大学・立教大学）
- ふれあい看護体験・インターンシップ
千葉大学医学部附属病院（1）、いすみ医療センター（5）、JFE川鉄千葉病院（3）、千葉医療センター（2）、茂原中央病院（6）、大多喜病院（1）、大多喜町役場（4）、大多喜郵便局（2）、千葉夷隅ゴルフクラブ（2）
- 進路講演会 ～創立110周年記念～
講師 元NECソフトウェア社長 関 隆明氏
「私の歩んだ道」～挑戦につぐ挑戦～
- 大学出張講義体験会
東京都市大・千葉工業大・東邦大・千葉県保健医療大・北里大・東京家政大ほかより講師を依頼
- 保護者進路説明会
講演 駿台千葉校 小林 英人氏
「最近の入試事情と受験対策について」

平成22年度卒業生合格先

- （四年制大学）
千葉大、首都大学東京、茨城大、千葉県立保健医療大、中央大、明治大、東京理科大、学習院大、神田外語大、駒沢大、東京農業大、東京家政大、東洋大、玉川大、東邦大、日本大、法政大、武蔵大、千葉工業大、淑徳大ほか
- （短期大学）
青山学院女子短大、上智短大、共立女子短大ほか

既卒生合格先（旧年度）

- （四年制大学）
長崎大、北里大、国士舘大、玉川大、中央大、東京工科大、東京理科大、東洋大、立教大ほか

平成22年度（平成23年3月）卒業生の進路状況

種別 性別	大学		短大		専門 各種学校	就職		家事 従事	その他	合計
	国公立	私立	国公立	私立		民間	公務員			
男	2	63	0	0	14	2	2	0	7	90
女	2	48	0	16	18	2	0	0	6	92
計	4	111	0	16	32	4	2	0	13	182

事務局だよ!

●平成22年度 年度末人事異動について

年度末の人事異動で、次の方々が退任・転任・転入されました。

《退任された先生方》

土屋和由喜 (国語) 平成20年より3年間(23年度一宮商業高校再任用)
堀江 明 (数学) 平成22年より1年間(23年度本校に非常勤講師として再任用)

《転任された先生方》

田邊 学 (地歴・公民) 平成13年より10年間、市原高校へ
小澤 浩 (数学) 平成11年より12年間、岬高校へ
松田美和子 (理科) 平成15年より8年間、市原八幡高校へ
森口 易子 (養護) 平成13年より10年間、茂原樟陽高校へ
池田 愛子 (音楽) 平成22年より1年間
吉田 君江 (主査) 平成20年より3年間、長生高校へ
滝口 清則 (主査) 平成20年より3年間、長狭高校定時制課程へ

《本校に転入された先生方》

森田 圭一 (地歴・公民) 長南町立西小学校から
高橋 一浩 (数学) 鶴舞桜が丘高校から
菅根 彰宏 (数学) 新採用
佐藤 幸生 (理科) 千葉西高校から
田中 正子 (養護) 市原緑高校から
村松 久子 (家庭) 本校非常勤講師から
堀江 明 (数学) 本校非常勤講師から
小高久美子 (主査) 茂原高校から

事務局長就任の挨拶

齊藤真一 (昭和56卒)

この度、転出した小澤 浩の後任として事務局長を務めさせていただきます。同窓職員で組織しております事務局は本年度2名が転出し、2名が新たに加入して4名で運営しております。微力ですが、力を合わせ会務を遂行する所存です。ご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

●異動連絡のお願い

住所等の異動の折には郵便はがきなどで同窓会事務局にご連絡ください。同窓会関係の郵便物が宛先不明で返送されますと会員名簿上での住所は空欄となります。同窓会事務局では少しでも正確な情報を把握しておきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

●原稿募集のお願い

同期会・クラス会・OB会等を開催されましたら、会報に掲載しますので、ご連絡をお願い致します。また、同窓生の皆様からの寄稿をお待ちしています。あるいは、原稿をお願いできる方をご推薦ください。

**平成23年度
同窓会総会・懇親会のお知らせ**

日時 10月29日(土) 午前11時20分～

場所 勝浦ホテル三日月

会費 男性7,000円 女性5,000円

**お問い合わせ、お申し込みは、
下記までお願い致します。**

TEL 0470-82-2621 (大多喜高校内・同窓会事務局)

●会報維持費のお願い

第6号より年1回の定期的発行となり、皆様方から会報維持費として1口千円でご協力をお願いしております。昨年は、1,613,090円の維持費(振込額から料金を差し引いた金額)が送られて来ました。本当にありがとうございました。1号発行するためには、約180万円かかります。会報の発行は皆様の会報維持費と広告料で成り立つものです。是非とも賛助金のご協力をお願い致します。

●振り込め詐欺被害にご注意ください

勝浦警察署から担当者が来校され、同窓生の親御さん、特に50歳から70歳前後の方が被害に遭われているとのことでした。

●個人情報について

個人情報についてですが、同窓会員の情報は(株)サルトにて一括管理されています。これは、会報の発行や名簿作成のためです。それ以外での使用は一切行っておりませんのでご承知ください。

●役員名簿

会 長	齋藤 萬祐 (昭32高)	
副 会 長	山口 登 (昭37高)	
	福山 悦男 (昭29高)	
	近藤 万芳 (昭32高)	
	太田 洋 (昭41高)	
	櫻井 榮子 (昭29女)	
	稲村千代子 (昭35女)	
監 事 (会計監査)	酒井 大門 (昭41高)	
	渡辺 雅文 (昭43高)	
顧 問	小高 芳男 (昭22中)	
支 部 長	大多喜	田辺 弘一 (昭34高)
	大 原	五十嵐一郎 (昭7中)
	勝 浦	岩瀬 義信 (昭34高)
	茂 原	伊藤 俊平 (昭29高)
	千 葉 (千葉大高会)	福山 悦男 (昭29高)
	岬	渡辺 正紘 (昭40高)
	女子高	稲村千代子 (昭35女)

【支部長は各支部で選出していただいています。】

TOPICS

平成22年度

- 平成22年11月4日(木)創立110周年記念式典を本校体育館にて挙行了。また午後より、記念演奏会として「ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉」を招いて本格的なオーケストラの演奏を聴きました。
- 2010千葉教育大賞「いすみ鉄道……地域とともに」受賞
普段からのいすみ鉄道に対する取り組みなどを評価していただき受賞いたしました。



平成23年度

- 4月7日に1クラス減の、4クラス普通科162名が入学いたしました。
- 6月1日より冷房設備が設置されました。これにより夏場の授業も生徒たちも意欲的になっています。